

第3回 笠岡市新病院基本構想有識者会議 会議概要

1 日 時 令和2年12月15日（火） 午後7時2分から午後9時10分まで

2 場 所 笠岡市中央公民館 集会室

3 出席者 笠岡市新病院基本構想有識者会議委員 12名
市長，政策部長，総務部長
笠岡市立市民病院 院長外7名
医療法人社団清和会 笠岡第一病院 宮島厚介理事長
傍聴者 笠岡市議会議員 4名
笠岡市立市民病院職員 15名
備中保健所職員 1名
その他 1名
基本構想策定支援業務受託業者 4名（オンライン参加）
事務局 3名

4 議事概要

（1）事務局説明

- 1）医療機関アンケートの結果について
- 2）レセプトデータ分析（流出量）結果について
- 3）病床別等シミュレーションについて
- 4）新病院のあり方について

5 委員からの意見

- （1）国民健康保険及び後期高齢者医療のレセプトデータから、笠岡市でどういう機能が必要かも分析できるので、笠岡市に特化した分析や笠岡市はどのような疾患や疾病をカバーしているのか、あるいはする必要があるので分析を改めて提示してほしい要望があった。
- （2）地域医療を考える中で、市民病院が基本的に必要なのか、必要であればどういった機能を持つ必要があるのか、市民病院の目指す方向はどこなのかをもっと議論するべきである。
- （3）医療法人社団清和会 笠岡第一病院 宮島厚介理事長に、地域医療の関係者という立場で出席いただいた。民間病院の立場から、病院経営の取組などを説明いただき、私見として市民病院の経営問題は内部課題に起因すると強く指摘された。
- （4）市民病院の財政問題を抜きに建替問題は語れないという委員の意見を多くいただいた。夕張市の病院が建替後破綻したという事例もあるので、市民病院の内部にも思い切った改革が必要である。
- （5）人口減少とともに患者も少なくなってくる。経営状況を改善するためには、職員が一致団結することが必要である。市民病院のことを考えるのはそこに働く職員であるという意見があった。

6 今後の予定

次回 第4回 令和3年2月16日(火)

市としての病院の方向性や市民病院の内部改革の取組の方向性を出すため、準備期間を設けることとなった。